



# 内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群

## ～縄文文化の息吹きを感じる遺跡ロマン～



内浦湾沿岸は北海道と本州を結ぶ縄文文化の交易路で、函館市の南茅部地域には現在91カ所の遺跡が確認されている。また、大船遺跡や垣ノ島遺跡をはじめ、著保内野遺跡で発掘された「中空土偶」は北海道初の国宝に指定されている。伊達市の北黄金貝塚は、縄文早期（7000年前）～中期（6000～4000年前）の遺跡で、住居や全国的にほとんど例のない「水場の祭祀場」が発見されている。